

平成29年度決算の概要



広島高速道路公社

Hiroshima Expressway Public Corporation

目次

◆ 会計処理の特徴	1
◆ 償還準備金積立方式の仕組み	2
◆ 平成29年度決算の概要	3
◆ 平成29年度損益計算書	4
◆ 平成29年度貸借対照表	5
◆ 借入金残高の推移	6
◆ 通行台数・料金収入・供用延長の推移	7
◆ 計画との比較	8
◆ 平成29年度キャッシュフロー計算書	9



会計処理の特徴

原則

- 当会社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、企業会計原則に準じた会計処理(発生主義・複式簿記)を行っています。

特徴

- 広島高速道路の整備については、出資金・借入金で建設を行い、お客様から頂いた料金収入で借入金等を一定の期間内に償還する有料道路制度を活用しています。償還完了後の道路は、本来の道路管理者に引き渡します。
- 有料道路制度においては、借入金等の償還状況を会計処理において適切に把握することが重要で、道路への投下資金(借入金等)とその償還額を毎期明らかにするため、「道路資産」については企業会計において一般的に採用されている減価償却費を計上していません。
- 借入金等の返済に充てた収支差(料金収入と管理費、利息等の費用の差)は、「償還準備金繰入」として費用に計上し、その累計額を「償還準備金」として貸借対照表の負債の部に計上しています。
- これにより、貸借対照表上で、資産の部に計上される「道路資産」と負債の部に計上される「償還準備金」とを対比することで、借入金の償還状況がわかりやすい仕組みになっています。



償還準備金積立方式の仕組み



平成29年度決算の概要

- ① 収益のうち道路料金収入は、通行台数の増加及び料金収入単価の伸びにより、前年度から5.0億円増加し、119.1億円となりました。
- ② 費用のうち道路管理費等の事業資産管理費は、労務費の上昇による委託費等の増により、前年度から1.5億円増加し、33.9億円となりました。
借入金利息等の業務外費用は、借入金の未償還残高の減により、前年度から0.9億円減少し、18.1億円となりました。
- ③ 道路料金収入等の収益から事業資産管理費等の費用を控除した収支差は、償還準備金繰入として、借入金の返済に充てました。
- ④ 償還準備金繰入は64.0億円で、前年度から4.2億円増加となり、累計額の償還準備金は、497.5億円となりました。
- ⑤ 平成29年度末の借入金の未償還残高は、建設事業の財源及び借換資金を新規借り入れし、償還準備金等を財源に元金償還した結果、前年度から23億円減少し、2,400億円となりました。



平成29年度損益計算書

(単位:百万円)

費用の部				
科目	金額			増減率 (%)
	平成29 事業年度	平成28 事業年度	差額	
事業資産管理費	3,386	3,231	155	4.8
道路管理費	3,304	3,155	149	4.7
ETCマイレージ還元負担金等	82	77	5	6.5
一般管理費	435	403	32	7.9
一般管理費	263	254	9	3.5
減価償却費等	172	149	23	15.4
業務外費用	1,809	1,900	△91	△4.8
借入金利息	1,778	1,869	△91	△4.9
債券発行費償却等	31	31	0	0.0
受託業務費	993	1,328	△335	△25.2
小計	6,623	6,863	△240	△3.5
引当金等繰入	6,417	6,147	270	4.4
償還準備金繰入	6,403	5,983	420	7.0
償還準備積立金繰入	14	164	△150	△91.5
合計	13,040	13,010	30	0.2

収益の部				
科目	金額			増減率 (%)
	平成29 事業年度	平成28 事業年度	差額	
業務収入	12,031	11,517	514	4.5
道路料金収入	11,911	11,412	499	4.4
ETCマイレージ還元負担金収入	46	41	5	12.2
業務雑収入	74	63	11	17.5
業務外収益	16	166	△150	△90.4
受託業務収入	993	1,328	△335	△25.2
合計	13,040	13,010	30	0.2

※ 係数毎に端数処理しているため、計において合致しないことがあります。
 ※ 増減率は端数処理後の値で算出しています。



平成29年度貸借対照表

(単位:百万円)

勘定科目	資産			増減率 (%)
	金額			
	平成29 事業年度	平成28 事業年度	差額	
流動資産	7,137	6,251	886	14.2
現金・預金外	7,137	6,251	886	14.2
固定資産	379,445	373,258	6,187	1.7
事業資産	304,279	304,279	0	0.0
道路建設仮勘定	74,247	67,904	6,343	9.3
有形固定資産外	919	1,075	△156	△14.5
繰延資産	250	217	33	15.2
借入金取扱諸費外	250	217	33	15.2
資産合計	386,833	379,726	7,107	1.9

勘定科目	負債及び資本			増減率 (%)
	金額			
	平成29 事業年度	平成28 事業年度	差額	
流動負債	28,452	26,597	1,855	7.0
1年内返済予定長期 借入金外	28,452	26,597	1,855	7.0
固定負債	214,632	217,398	△2,766	△1.3
広島高速道路債券	104,000	96,000	8,000	8.3
地方公共団体借入金	50,380	55,603	△5,223	△9.4
政府借入金	52,327	56,760	△4,433	△7.8
市中銀行等借入金等	7,744	8,865	△1,121	△12.6
退職給与引当金	151	140	11	7.9
ETCマイレージ引当金	30	30	0	0.0
特別法上の引当金等	61,584	55,167	6,417	11.6
償還準備金	49,751	43,347	6,404	14.8
償還準備積立金	11,833	11,819	14	0.1
(負債合計)	304,669	299,162	5,507	1.8
基本金	82,030	80,430	1,600	2.0
地方公共団体出資金	82,030	80,430	1,600	2.0
剰余金	134	134	0	0
(資本合計)	82,164	80,564	1,600	2.0
負債・資本合計	386,833	379,726	7,107	1.9

※ 係数毎に端数処理しているため、計において合致しないことがあります。
 ※ 増減率は端数処理後の値で算出しています。

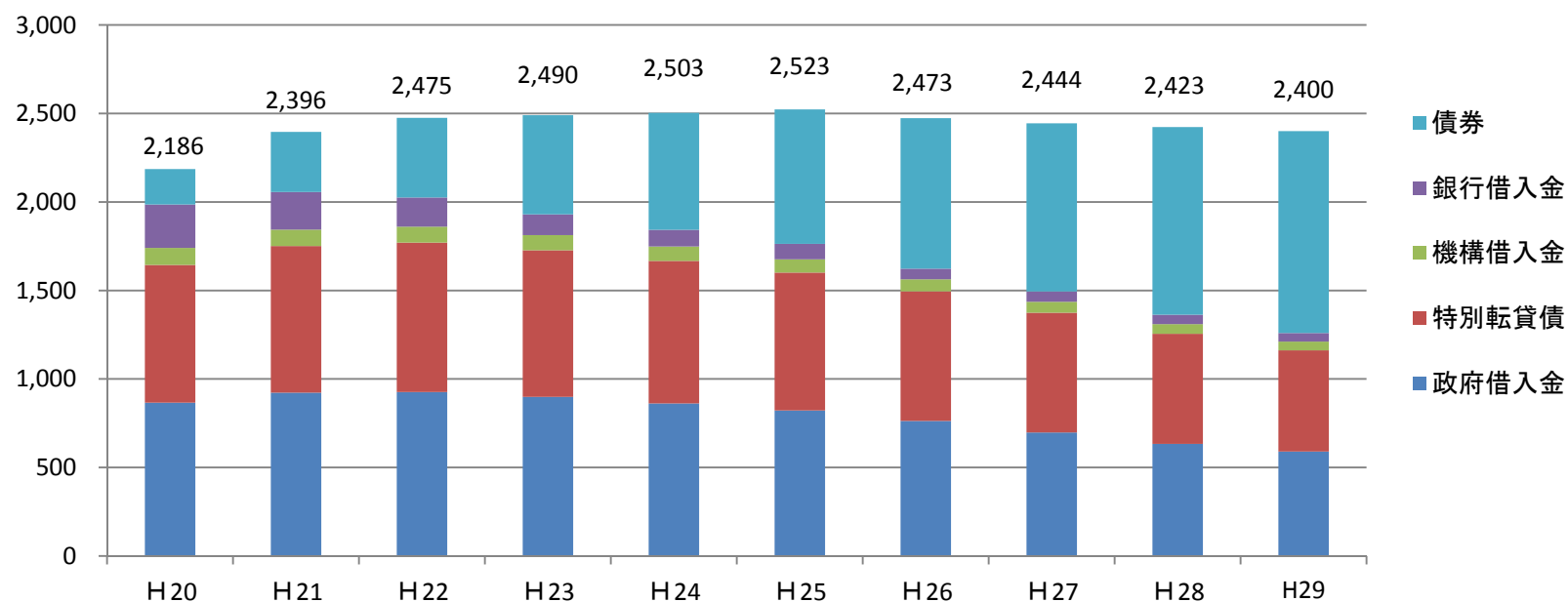


借入金残高の推移

借入金残高の状況は、建設事業の財源及び借換資金として228億円を新規借り入れし(債券、政府借入金等)、償還準備金等を財源に元金償還した結果、平成29年度末の借入金の未償還残高は平成28年度に比べ23億円減少し、2,400億円となりました。

(億円)

借入金残高の推移



平成29年度末の借入金残高

前年度末	平成29年度借入額	計	償還	平成29年度末
2,423億円	228億円	2,651億円	251億円	2,400億円

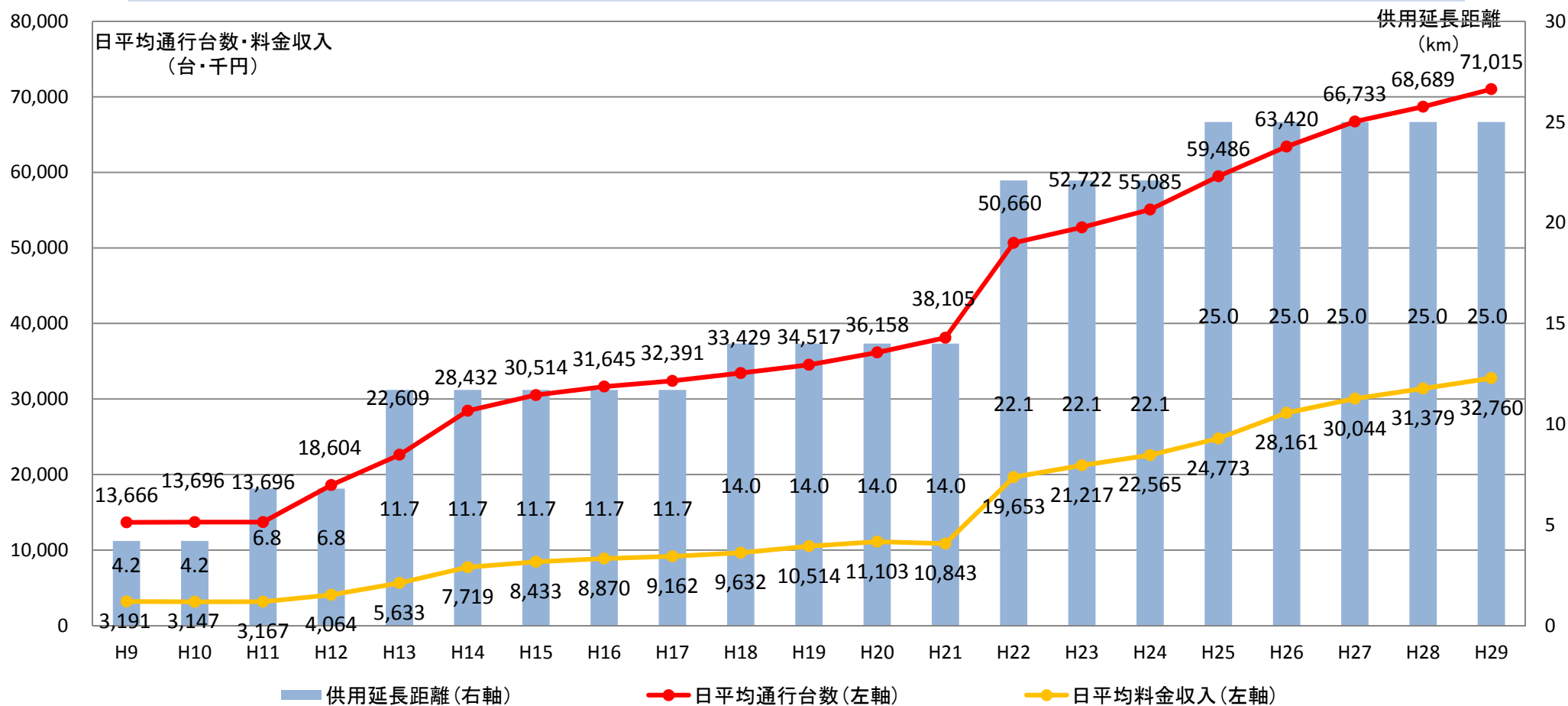


通行台数・料金収入・供用延長の推移

平成29年度

日平均通行台数 71,015台(3.4%増)、日平均料金収入 32,760千円(4.4%増)

■ 平成22年4月に広島高速2号線及び3号線Ⅱ期、平成26年3月に広島高速3号線Ⅲ期と、新規路線の供用開始後、通行台数・料金収入ともに増加。



計画との比較

【償還準備金繰入】

(単位:百万円)

区 分		収 益 (A)	費 用		償還準備金繰入 (A-B)	営業係数 (B/A*100)	
			(B)	管 理 費			借入利息等
平成29年度	計画	12,079	5,273	3,484	1,789	6,806	44
	実績	12,034	5,630	3,821	1,809	6,403	47
累 計	計画	112,092	61,959	37,002	24,957	50,133	55
	実績	112,274	62,523	37,512	25,010	49,751	56
計 画 に 対 す る 実 績 の 比 率		100.2	100.9	101.4	100.2	99.2	—

○計画は、整備計画(平成28年12月国土交通大臣許可)の数値です。

○管理費は、事業資産管理費、一般管理費の合計です。

○営業係数は、100円の収益を得るために必要な費用を意味し、平成29年度は昨年度から1ポイント改善しました。



平成29年度キャッシュフロー計算書

平成29年度 キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	平成29年度	平成28年度	増減額		平成29年度	平成28年度	増減額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	A	B	A-B	II 投資活動によるキャッシュ・フロー	A	B	A-B
償還準備金繰入等	6,417	6,148	269	有価証券の取得による支出	▲ 7,000	▲ 2,700	▲ 4,300
減価償却費	130	130	0	有価証券の売却による収入	7,000	2,700	4,300
賞与引当金繰入額	32	0	32	事業資産の取得による支出	0	0	0
退職給付費用	10	19	▲ 8	事業資産の売却による収入	0	0	0
E T Cマイレージ引当金繰入	0	1	▲ 1	建設仮勘定の取得による支出	▲ 5,186	▲ 4,348	▲ 838
債券発行費等償却額	25	22	2	固定資産の取得による支出	▲ 75	▲ 65	▲ 11
受取利息	0	0	0	固定資産の売却による収入	87	0	87
債券支払利息	883	855	28	投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 5,174	▲ 4,413	▲ 761
借入金支払利息	895	1,014	▲ 119				
未収金等増減額	▲ 118	▲ 440	322	III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
棚卸資産増減額	▲ 13	▲ 60	47	短期借入による収入	0	0	0
未払金増減額	148	43	105	短期借入の返済による支出	0	0	0
小計	8,409	7,732	676	長期借入による収入	4,550	2,890	1,660
受取利息	0	0	0	長期借入の返済による支出	▲ 15,103	▲ 16,417	1,314
債券支払利息	▲ 883	▲ 855	▲ 28	債券の発行による収入	18,000	11,000	7,000
借入金支払利息	▲ 895	▲ 1,014	119	債券の償還による支出	▲ 10,000	0	▲ 10,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,631	5,863	768	出資金の受入による収入	1,600	975	625
				財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 953	▲ 1,552	599
				IV 現金及び現金同等物の増加額	504	▲ 101	605
				V 現金及び現金同等物期首残高	3,437	3,538	▲ 101
				VI 現金及び現金同等物期末残高	3,941	3,437	504

